

第3回 小諸新校再編実施計画懇話会まとめ

日時	令和3年(2021年)3月25日(木) 18時00分～19時30分
場所	小諸高等学校 音楽ホール
出席 (敬称略)	田中 尚公, 小林 秀夫, 市川 美香, 塩川 秀忠, 柴崎 晋輔, 清水 信, 高見澤 敏光, 鷹野 昭裕, 北澤 隆司, 土屋 壮亮, 岩本 秀幸, 原 周一郎, 寺島 克彦, 金子 房夫, 福澤 みゆき, 鹿取 俊彦, 吉沢 久, 甘利 庸子, 山下 千鶴子, 小口 貴子, 佐藤 大輝, 小林 あやの, 柳澤 海里 (以上23名)
傍聴者	6名
事務局	小諸商業高校: 藤澤 教頭(事務局長), 原 教諭, 松澤 教諭, 中村 教諭, 植原 教諭 小諸高校: 倉下 教頭(副事務局長), 金子 教諭, 坂口 教諭, 井出 教諭, 甲田 教諭 県教育委員会: 上原 主幹指導主事, 高野 担当係長, 村澤 主査, 柳沢 主任指導主事
当日資料	○次第, 席図, 第2回小諸新校再編実施計画懇話会まとめ, 講演会のまとめ ○生徒発表資料(小諸商業高校、小諸高校)

会議事項

- (1) 第2回小諸新校再編実施計画懇話会まとめについて(報告)
- (2) 第1回校地検討部会について(報告)
- (3) 新校に期待する姿について ①生徒による発表 ②意見交換

高校生による発表及び主な意見(要旨)

【高校生による発表】(学校紹介及び新校に期待する学校の姿について)

<小諸商業高校>【未来の学校】

- 小諸商業高等学校の良さ[商業科、検定の取得量、スマイル小商店街、デュアルシステム]
※デュアルシステム=産業現場での長期の就業体験を教育課程に位置づけ、産官学が連携して地域の産業人材の育成を図るシステム
- 全校アンケート結果、現状 [△評価点]商業の学び、検定が多い、イベントが多い、駅が近い
[▼改善点]校則の徹底、身だしなみ、普通科の授業が少ない、グラウンドの整備
- 将来の学校像 [両校の良さが詰まった、学校に行きたいと思える学校]
~~~~生徒が、明るく輝き、交流し、可能性を広げられる、設備の整った学校~~~~

#### <小諸高校>【新校について 私たちが考える3つのこと】

- 校舎について[現校舎=駅から遠い、段差が多い、音楽棟設備は充実しているが、更衣室・練習室等改善]  
[新校舎=バリアフリー化、全学科が同じ校舎で生活、フリースペースで自由に交流可能]
- 4科の交流について[普通科・音楽科・商業科・会計システム科]生徒自ら考える4科の交流、合同文化祭
- 新科について[多言語学科、融合企画]それぞれの科が活躍⇒協力して企画 スローガン=“多様性”

#### 【主な意見】

- 両校の発表に感動した。インプットする学びに加えて、アウトプットする学びがとても大切だと思った。
- 素晴らしい発表だった。小諸商業のデュアルシステムは新校のひとつの特長になると思った。
- 私の会社では、小諸商業の生徒が一定期間デュアルシステムにより実際に仕事をしてもらっている。地域と一緒に考えていくことは新校が目指す姿のひとつ。小諸市の内外に声をかけて頂ければ、喜んで皆協力する。
- 制服を着る、身だしなみに気をつけることによって、見栄えや街中での生活がよくなると思う。
- デュアルシステムなど、生徒が自ら取り組む姿勢は社会に繋がる大切なこと。「多言語学科」から感じたのは、コロナ禍で、高齢者に対し生徒さん方に逆に先生となって来てもらえたら有難いと思った。
- [副市長]魅力ある環境を整備する立場として、通学に関する両校の生徒の意見を聞きたい。  
<小諸>凄く遠く辛い(楽器あれば特に)。  
<小諸商業>第二グラウンド遠い。近くにしてほしいです。
- 多様性という言葉が出て嬉しい。統合によってスケールの大きい考え方ができる多様性のある学校ができると感じた。是非、近くに良い校舎の学校をつくってあげてほしい。小諸の街は小さいが、いろんな企業がある。積極的に企業を巻き込んで連携することで良い学校にしてほしい。
- 素晴らしいプレゼンを見て高校生を応援したくなった。多様性こそがバランスを保つためのキーワード。
- 小学校の地域連携=収穫体験や歴史等、地域の皆さんの協力で、学区の中で生活科や社会科の授業でも連携。
- 中学校の地域連携=地域を1年で知る、2年で学ぶ、3年で貢献。義務教育では可能性を見つける、高校では専門性に繋げ深めていく。小諸は産業・歴史・文化・商工業・観光がコンパクトにある。体験を通して小中高の繋がりの中で自己実現をはかっていく、今日はワクワクする新校になりそうな期待が持てた。